

三重県議会議員・防災士

HIROSHI YAMAZAKI

山崎ひろし

声と力に!!
行動力!!

県政レポート



右のQRコードから
令和5年定例会
(令和5年9月26日)
動画をご覧ください。



発行：山崎ひろし事務所 〒510-8037 三重県四日市市垂坂町883-5
TEL 059-333-3206 FAX 059-333-3206

現在の役職

- 環境生活農林水産常任委員会 委員長
- 四日市港管理組合 議会 議員
- 予算決算常任委員会 委員

三重県議会にて一般質問いたしました《令和5年9月26日》

四日市萬古焼の支援について

Q [質問]

原材料価格の高騰について、特に窯業業界ひいては伝統工芸品である四日市萬古焼などは世界的な需要の高まりと重なり原材料のペタライトの価格が10倍程度上昇すると聞きました。三重県として伝統工芸品を継続して支援していくのか、お考えをお聞かせください。

A [答弁]

ペタライト鉱石の輸入停止の影響により、耐熱陶器の製造が危惧されることは、大きな課題として認識しています。このため、県工業研究所において、陶磁器業界とともに、ペタライト鉱石の使用量を低減させる研究などに取り組んでいるところです。引き続き、事業者への技術支援に取り組むとともに、代替となる原材料や新たな調達ルートの導入など、事業者の取組に対する支援について検討してまいります。さらに、国に対して海外からの原材料の安定的な確保に向けた支援について要望してまいります。

県内伝統工芸品の海外輸出について

Q [質問]

三重県として県内伝統工芸品の海外輸出に対する支援について、現在の取組と今後どのようにして輸出の拡大を図っていくのか、お考えをお聞かせください。

A [答弁]

現在、和食を始めとして、日本の食や文化に対する世界の関心が高まっています。このような中で、本県の伝統工芸品の輸出に向けては、商品の魅力発信や商談機会の創出、訴求力の高い商品開発の支援などに取り組んでいます。今後も、事業者やバイヤーの声を参考にしながら、消費者のニーズに合った、付加価値の高い商品開発の取組を支援するとともに、伝統産業の事業者による海外への販路拡大を支援してまいります。

報告 伝統工芸への支援を補正予算に含めていただきました

原材料の価格高騰の影響を受けている県内の指定伝統工芸品の製造業者について、支援金を受け取ることができる支援策を今年度補正予算に計上することができました。今後とも皆様の声をカタチにしていけるように活動していく所存でございます。

北勢地域の伝統工芸品については以下の通りです。

対象者: 国又は県指定の伝統工芸品の製造事業者等

補助要件: 令和4年12月～令和5年11月のいずれかの月において、原材料価格高騰の影響を受けていること

支援金額: 1事業者あたり10万円

経済産業大臣指定伝統的工芸品

四日市萬古焼(四日市市) 鈴鹿墨(鈴鹿市) 伊勢形紙(鈴鹿市)

三重県指定伝統工芸品

日永うちわ(四日市市)	桑名萬古焼(桑名市)	地張り提灯(いなべ市)
四日市の提灯(四日市市)	桑名鋳物(桑名市)	関の桶(亀山市)
桑名盆(桑名市)	多度の弾き猿(桑名市)	
桑名刃物(桑名市)	和太鼓(桑名市・いなべ市)	



工業用LPガスの価格高騰に対する支援について

Q [質問]

今後、エネルギー価格の高騰について工業用LPガスへの価格高騰対策支援金などを検討していただけないか。

A [答弁]

エネルギー価格の高騰が深刻な状況となる中、一般消費者・事業者に対し、総額16億円のLPガス料金高騰対策支援を10月から実施いたします。工業用LPガスについては、種類によって値上がり幅が異なることや、業種や事業所の規模で、使用量に大きな差が出るがあると聞いています。そのため、工業用LPガスについては、国の動向に加え、工業用LPガスの使用状況や値上がりの状況を注視しながら、支援の在り方について検討していきます。

報告

LPガス価格高騰等に対応する補正予算が成立しました

一般質問にて取り上げさせていただきましたLPガス価格高騰等について、生活に影響が出ている一般消費者等に対して支援事業費33億円、影響を受ける中小企業事業者の負担に対して1.6億円の補正予算に計上することができました。

LPガス料金高騰対策支援事業費

33億円

工業用LPガス料金高騰対策支援事業費

1.6億円

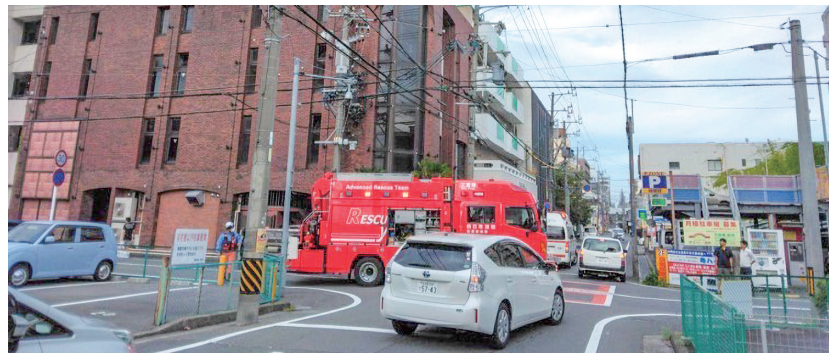
裏面に続く⇒

報告 事故多発交差点の改修工事が完了しました

四日市市中心部の西浦交差点では、信号機の撤去後に事故が多発していました。そこで交差点の交通量調査や周辺パトロールを実施し、自治会と四日市南警察署と協議した結果、交差点での一旦停止義務違反の車両が多い事実が発覚しました。そのため以下の改修工事を実施したところ、それ以降に事故の発生を防ぐことができました。

今後は新しい交差点のモデルケースとして、この地域にも導入を検討していく所存です。

- ①一旦停止線を太くして強調させる
- ②一旦停止の標識を複数設置する
- ③交差点内の表示を追加する



中小企業・小規模企業への支援補助施策について

Q [質問]

日本国内にて原油・ガス・電気等のエネルギー価格が高騰し、企業の活動に重大な影響を及ぼしております。本年度も引き続き三重県では、公益財団法人三重県産業支援センターから生産性向上・業態転換支援補助金と題して県内企業への支援を行っています。しかし、申請の複雑さや準備書類の多様さゆえにもう少し申請書などを簡略化していただけないか。

A [答弁]

本補助金は、経営者自らが前向きに考え、事業を再構築し、経営を革新していく、意欲的な取組を後押しする制度としていく必要があります。このため、三重県版経営向上計画の様式を活用し、企業の経営状況や課題を見つめ直し、事業計画を作成していただけるよう、商工会・商工会議所等を通じて寄り添った支援を行っているところです。引き続き事業者や商工団体等の声に耳を傾けながら、事業者の皆さんに寄り添ったより良い制度となるよう取り組んでまいります。

産業廃棄物不適正処理事案（大矢知・平津事案）の跡地利用について

Q [質問]

産業廃棄物不適正処理事案（四日市市大矢知・平津事案）について、跡地利用に係る県の考えを教えてください。

A [答弁]

大矢知・平津事案を含め、本県が行政代執行を行った4事案については、令和5年3月末までに全ての工事を終了したところですが、いずれの事案においても現地に廃棄物を残していることから、工事終了後も廃棄物処理法により土地の利用が制限されます。

土地の利用は、所有者の意向によることとなり、管理も所有者に引き継がれることとなりますが、モニタリングなど環境修復後の安全性の確認に係る管理については、県が、実施していく必要があります。

こうした中、当該事案に係る跡地利用については、原因者以外にも多数の土地所有者が存在するとともに、所有者不明土地

が複数存在するなどの課題もありますが、地元代表者の皆様と協議を重ね、昨年度は、県管理用道路等に、原因者の費用負担により桜を植樹いたしました。

引き続き、平成23年に大矢知・八郷地区の両連合自治会と締結した協定に基づき地元と協議してまいります。

北勢地域の道路渋滞緩和策について

Q [質問]

現在の国道1号や国道23号の渋滞緩和策を目的として、国において整備が進められている北勢バイパスの事業の進捗状況と今後の見通しについてお聞かせください。

A [答弁]

北勢バイパスは延長約21kmの直轄国道であり、現在8.5kmが供用済みとなっています。残りの区間については、市道日永八郷線から国道477号バイパス間の4.1kmが令和6年度開通予定であり、国道477号バイパスから終点の四日市市采女までは、現在、周辺住民の皆様の意見を伺いながら調査設計が進められています。

県としては、引き続き北勢バイパスの重要性を訴え、必要な予算の確保など、早期の全線開通に向け取り組んでまいります。

四日市市内の河川整備・維持管理について

Q [質問]

四日市市内を流れる河川（三滝川・海蔵川・朝明川・鹿化川など）の整備・維持管理の状況についてお聞かせ下さい。

A [答弁]

三滝新川は、令和8年度完成に向け令和5年度から床止工の工事に着手します。三滝川は、久保田橋から生桑橋にかけて護岸整備を行っています。海蔵川は準用河川堀川流入部で樋門整備を進めており、朝明川は国道1号と近鉄名古屋線の間で護岸整備を進めています。鹿化川は、流下能力向上のため河道掘削を実施しています。

河川の維持管理としては、堆積土砂撤去や立木伐採、堤防除草などを四日市市内の県管理河川で実施しています。

三重
県議会
での
経歴

2019

三重県議会議員1期

- 常任委員会：● 防災県土整備企業 常任委員会 委員
- 予算決算常任委員会 委員
- 四日市港管理組合議会議員
- 広聴広報会議 委員

2020

- 常任委員会：● 医療保健子ども福祉病院 常任委員会 委員
- 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：差別解消を目指す条例検討調査 特別委員会 副委員長
- 四日市港管理組合議会議員

2021

- 常任委員会：● 防災県土整備企業 常任委員会 委員長
- 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：差別解消を目指す条例検討調査 特別委員会 副委員長
- 広聴広報会議 委員

2022

- 常任委員会：● 環境生活農林水産 常任委員会 副委員長
- 予算決算常任委員会 委員
- 広聴広報会議 委員



防災みえ.jp (<https://bosaimie.secure.force.com/>) にて災害状況がご覧になれます。

発行／山崎ひろし事務所 TEL・FAX 059-333-3206 mail h-yamazaki@yamafen.jp

お気軽にメール・FAXお待ちしております！

お知らせ

山崎博！県政報告会は、ホームページ・案内チラシにて連絡報告させていただきます。

山崎ひろし 公式ホームページ
<https://yamazakihiroshi.jp>

